

## 【諮問事項】

「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応する観点から、圏域における地方公共団体の協力関係、公・共・私のベストミックスその他の必要な地方行政体制のあり方について、調査審議を求める。」

## 【具体的な検討項目(案)】

① 「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し顕在化する諸課題」として、どういったものが考えられるか。また、これにどのように対応することが求められるか。

＜分野別ヒアリングを踏まえた総括的議論での主な意見＞

- ・ 各分野の課題や各地方の連携の状況、自治体の管理部門、外国人材の受入等について、追加ヒアリングや現地調査を行ってはどうか。技術革新の活用、「共」や「私」から見た「公」の課題については、民間団体等からヒアリングを行ってはどうか。
- ・ 東京圏への人口流出をどう防ぐか。コミュニティ維持の取組をどう広げていくか。
- ・ 政策分野ごとの課題の全体像を眺めた上で、各府省所管の制度における対応と地方制度における対応を分野横断的に検討してはどうか。
- ・ 諸課題を解決するための仕組みやそれを実行するための仕組みは整っているか、現場目線で整理してはどうか。
- ・ 地域ごとの課題を明確にするため、各自治体や広域での人口動態や施設、サービスに関するカルテ(見取り図)をつくってはどうか。
- ・ 政策分野ごとに時間軸が異なる各種計画の下で、どう中長期的に整合性をとっていくか。
- ・ 災害対策など、短期的な状況の変化に応じた行政のあり方をどう考えるか。
- ・ 各自治体の取組をどうすれば両立可能、持続可能にできるか。
- ・ 情報技術等の分野で、国が全体調整等に関する方針策定や情報提供をどう行うか。AI等について、国において、有効な活用方法や留意事項等を整理する必要。
- ・ 年齢や居住地域など、多様なライフコースに応じた2040年までの動きを見通してはどうか。

# 今後の審議について(案)②

## 【具体的な検討項目(案)】(続き)

②「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し顕在化する諸課題」に対応する観点から、

- 圏域における地方公共団体の協力関係として、どのようなことが考えられるか。
  - 公・共・私のベストミックスとして、どのようなことが考えられるか。
  - その他の地方行政体制のあり方として、どのようなものが求められることとなるか。
- (例) 現行の合併特例法が平成31年度末に期限を迎えることへの対応 等

<分野別ヒアリングを踏まえた総括的議論での主な意見>

- ・ 地方の自主性や地方自治の本旨、国と自治体や自治体間の適切な役割分担といった基本的価値を前提とする必要があるのではないか。
- ・ これまでの市町村合併や広域連携の取組の検証をしてはどうか。
- ・ 政策分野ごとに異なる圏域、地域の広がりや地方制度としてどう受け止めるか。
- ・ 人生100年時代における住民の多様性(性別や年齢、ライフスタイル等)に自治体としてどう応えるか。
- ・ AI・ロボットなど技術革新をどう活用するか。システム等の共同化をどう考えるか。AI等について、国において、有効な活用方法や留意事項等を整理する必要。
- ・ 専門職・専門家の不足への対応として、どのような自治体間、公・共・私の中の協力関係が考えられるか。
- ・ 地域における意思形成をどのように図っていくか。
- ・ 地方公共団体の機関のあり方、住民参加のあり方、公・共・私の役割分担のあり方をどのように考えるか。公・共・私のベストミックスについては、民間団体等からのヒアリングが必要ではないか。
- ・ 圏域を越えた自治体間の交流、助け合いをネットワークする仕組みをどう構築するか。
- ・ 合併をしなかった地域における行政サービスをどう持続可能なものとするか。連携や補完から取り残される自治体が生じないように、周辺地域の声をどう吸い上げるか。
- ・ 首都圏等の大都市圏と地方圏とでは、圏域のあり方が異なる。首都圏をはじめとする大都市の問題も整理が必要。